

私のまちの水辺調査報告

今年で12年目になる水辺調査は、7月14日(金)に行いました。



- 調査場所
- ①富士見緑地湧水
- ②旧農業試験場はげ下湧水池
- ③残堀川
- ④多摩川
- ⑤立川公園の柴崎分水
- ⑥矢川緑地湧水



2017年7月14日 単位(mg/L)	富士見 緑地湧水 ①	旧農業試 験場はげ 下湧水池 ②	残堀川 ③	多摩川 ④	立川公園の 柴崎分水 ⑤	矢川緑地 湧水 ⑥
COD	2	2	6	8	4	4
アンモニウム態窒素	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
亜硝酸態窒素	0.005	0.005	0.005	0.05	0.02	0.02
硝酸態窒素	5	5	0.2	2	0.2	2
りん酸態りん	0.05	0.02	0.05	0.1	0.05	0.02

～参加者の声～

初めて参加しました。身近なところに湧水があったことにまず感動！湧水があるところは緑に囲まれ涼しく感じました。息子も気持ちよさそうに水を汲んだり、試薬の色を確認したり調査に参加していました。トンボ、ザリガニ、アメンボ、ガマの穂、みくりなども見つけて、次に予定している生き物調査が今から楽しみです♪(Y)

都議会報告

都知事に対して 是々非々で臨む 豊洲移転反対 築地再整備

第2回臨時会(9月5日閉会)に上程された市場会計補正予算案に、都議会生活者ネットワークは反対しました。補正予算は、豊洲市場への移転準備と築地再開発に向けた検討を内容としています。昨年夏、豊洲新市場に「盛り土」がないことが発覚し、市場移転問題は大きく迷走してきました。盛り土を行わず地下ピットをつくったにもかかわらず、環境局が環境アセスメントのやり直しは不要と判断しました。このことは、再アセスにより開場が1年以上遅れるという影響を避けるためではないかとの疑念もあり、環境アセスメントをやり直すことを求めました。

築地で事業を続けたいと考えている事業者は、「築地は守る」という知事の基本方針に、築地が「市場」として復活すると期待を寄せました。今回の補正予算審議の中では、こうした事業者の期待に応える具体的なビジョンが示されなかったことが残念です。今後「築地再開発検討会議」を設置し検討するとのことですが、事業者や地元と協議して、「築地市場」が何らかの形で復活することを期待するものです。

生活者ネットワークは、かねてから、豊洲市場ほど巨大な規模の市場が必要なのかと疑問を呈してきました。卸売市場の取引量はすでに減少しており、今後の人口減少、魚を取り巻く環境の変化や物流のあり方を考えると、取引量を過大に見積もった市場規模は、大きすぎる公共施設として重荷になるのではないかと指摘しました。

都議会生活者ネットワークは、議会の活性化に資する改革を提案し、今後も都民と都議会をつなぎ、環境・福祉優先の持続可能なまちづくりをすすめていきます。みなさまからのご提案をお待ちしております。

8月12日放送の「土曜♥あるある晩餐会」出演の裏話は
山内れい子ホームページをご覧ください。http://yamauchi.seikatsusha.me/



東京都議会議員
山内れい子

稲橋ゆみ子/谷山きょう子 活動レポート

所属 立川・生活者ネットワーク 発行日/2017年9月25日
〒190-0004立川市柏町4-56-10 2階 TEL.042-535-9110 FAX.042-535-9116
E-mail tachikawa@seikatsusha.net

■稲橋ゆみ子 ホームページ
http://inahashi.seikatsusha.me/

■谷山きょう子 ホームページ
http://taniyama.seikatsusha.me/



市議会議員 稲橋 ゆみ子
市議会議員 谷山 きょう子

- 学校のトイレ改修
- 立川市役所 公開会議の案内板

議会報告
市民の声を議会へ まちづくり(政治)は生活の道具です。

「実現しました!立川市役所 公開会議の案内板」 稲橋ゆみ子

現在の庁舎を建設するにあたって、基本理念として一番に掲げられていたのは、「市民自治の拠点」でした。地方分権時代における、自主・自律性の高い行政運営、開かれた議会と共に、市民の参加・参画をめざした拠点です。これからの超高齢社会で、今までに経験したことのない年齢構成、財政や環境悪化が予測される中で、まちの課題の共有、解決のための計画づくり、実現するための施策の取り組みをするために、情報を共有して市民参画することが必要です。

2016年6月定例会一般質問で、市民協働における情報公開、市民参画のあり方について質問しました。

立川市では、「立川市審議会等会議公開規則」の中で傍聴者に対して資料が閲覧できるように定めています。時間の都合などで会議傍聴ができなくても、公開された資料については、情報公開請求なしでも閲覧することができるはずですが、各会議の所管課の判断に任されている実態があります。

情報公開に関する庁内の体制を整えるよう提案し、傍聴がしやすいように、はっきりとわかる会議案内板の設置を求めました。2017年4月より市役所に案内板が設置されました。



市役所正面玄関に入って、左手の壁の中央画面が会議の案内板。文字が小さく、さらに改良の必要がある。

「実現しました!学校のトイレ改修」 谷山きょう子

2016年3月議会で、質問し要望した「小・中学校のトイレ改修を建物全体の大改修を待たずに行い、トイレなどの教育環境を改善すること」が実現しました。

2015年12月に、トイレ清掃をボランティア活動で行っている保護者と市内3校のトイレ見学を行い、実状と改善について、市の職員と意見交換を行いました。一般質問では、先進自治体の取り組みの紹介をしながら、大・中規模改修のあい間に、トイレの延命改修をタイミングよく行っていくことが長寿命化、コスト削減につながることを提案しました。

立川市は、今後5年間で大・中規模改修等を予定している学校を除く小・中学校15校を対象に平成29年度から3年間でトイレの大便器の洋式化、床のドライ化、小便器の交換を進め、快適な環境を整備します。

- 平成29年度=【西砂小・第三小・上砂川小・柏小】
- (トイレ改修 4つの小学校 平成29年度予算額 252,992(千)円)
- 平成30年度=【第十小・幸小・松中小・新生小・第一中・第三中・第四中】
- ※__は大便器の洋式化のみ
- 平成31年度=【第六中・第七中・第八中・第九中】



便器や床をリニューアルし、トイレのニオイが解消された。

みんなで考えよう 立川の子どもたちの学校給食 あなたの給食「あるある」は？

2017年2月、立川市小学校給食による1000人以上の集団食中毒が発生し、全国のニュースで報道されました。原因究明と再発防止対策のため、約1ヶ月共同調理場が使えず、共同調理場方式の全ての小学校で給食が供給されませんでした。原因は、ノロウイルスで汚染されたきざみのりとわかり、共同調理場の衛生管理に問題はなかったものの、ひとたび事故が発生した場合の被害の大きさを露呈することとなりました。立川・生活者ネットワークでは、議会質問や視察（市内や先進市）などで、学校給食に取り組み、さまざまな提案をしています。今回は現在の学校給食の課題についてまとめました。学校給食についてのご意見を、立川・生活者ネットワークまでお寄せください。

自校式の方が残飯は少ない！ 学校給食の実施方式の違い

現在、第一小学校から第八小学校までは、自校調理方式、その他は共同調理場方式、中学校は、弁当併用外注方式（弁当持参か外注弁当の選択制）で実施されています。温かいものは温かく、栄養士・調理師とも顔の見える関係で食育のできる自校調理方式が望ましいので、平成25年、第一と第二共同調理場を統合する際、「せめて親子方式を」と提案しましたが、効率化や経費等が優先され叶いませんでした。



中学校 外注給食弁当

立川・生活者ネットワークは、より良い学校給食に向けて調査、提案を続けます。学校給食に関するご意見をお寄せください。

- ①小学校給食は、自校調理方式と共同調理場方式があることを知っていましたか？
- ②中学校給食は、弁当併用外注給食であることを知っていましたか？
- ③あなたが食べていた学校給食は何ですか？
自校調理方式 共同調理場方式 その他（ ）
- ④学校給食の思い出、ご意見はありますか？



自校式給食がなくなる！ 中学校完全給食は実現するけれど

2016年6月議会文教委員会で、「学校給食共同調理場の新設に係る基本的な考え方について」（立川市HP参照）が報告されました。防災機能や調理場の用地、管理運営方法のほか、次の2点が示されました。

- 1、中学校給食の共同調理場方式化について
 - 2、小学校自校調理校の共同調理場方式化について 中学校給食共同調理場の新設に合わせて、自校調理校(8校)の給食を共同調理場方式に移行する。
- その後、この項目について「学校給食運営審議会」に諮問し、2017年2月に答申の予定でしたが、集団食中毒があり、7月に答申がまとまり、8月、教育長へ提出されました。



実現！安心の食材要綱 しかし、行われなかったトレーサビリティ

立川・生活者ネットワークは、1996年から遺伝子組み換え作物の輸入が始まったことから、平成10年9月議会の一般質問で、学校給食には使用しないように要綱の設置を求め、翌年の9月に「立川市学校給食用材料調達事務要綱」（立川市HP参照）が策定されました。その後、さらに安全な食材を確実にするために、「いくつかでも食品供給行程を確認し、業者からの提出文書どおり衛生基準や要綱が守られているか調査をすること」を議会質問で求めましたが、市の答弁では、「業者の提出文書を信用し、その必要はない」ということでした。

食べることは生きること 主権者教育としての学校給食

学校給食は学校教育の一環として行われ、成長期にある児童生徒の健康の保持、増進に役割を果たしています。さらに食育として取り組むことで、生涯にわたっての健康な生活の基礎となり、自己の健康管理ができる能力を育てることになります。

また、学校給食は生産、流通、消費、廃棄までをトータルに学べる生きた教材です。食から社会をみることで、農業や漁業などの生産、加工、流通、どのように消費されるか、社会のしくみと経済を知ることでシチズンシップ教育としても重要であると考えます。



小学校 共同調理場方式給食



小学校 自校調理方式給食



● 共同調理場方式
■ 自校調理方式
▲ 弁当併用外注給食